

社会保障の在り方に関する懇談会、最終報告をまとめる

5月26日、政府の「社会保障の在り方に関する懇談会」は最終報告をまとめました。急速な少子高齢化により、社会保障制度が国民生活に大きな影響を与えるようになるなか、制度の持続可能性の確保のため、給付と負担のあり方に加え就業対策など担い手の拡大や関連施策の一体的見直しを提起しています。

最終報告では、今後の社会保障の在り方についての基本は、自助、共助、公助を適切に組み合わせ福祉社会を形づくるべきだとし、社会保障の将来を展望するにあたっては人口構造・家族構成、就労形態・企業福利、財政、税制なども一体的に見直すことを求めました。

- ① 自ら働いて自らの生活を支え、自らの健康は自ら維持するという「自助」を基本として、
- ② これを生活のリスクを相互に分散する「共助」が補完し、
- ③ 原因は問わないものの、需給要件を限定した上で最低限度の救済をする「公助」を最後のよりどころとして位置づける。

また、個別に、少子化対策、就業対策、年金制度改革、介護保険制度、医療保険制度改革、などについて課題整理をしています。

- **少子化対策：**
社会保障の担い手の拡大のため、社会保障費全体に占める児童・家族関係給付費と高齢者関係給付費との格差・バランスを見直し、歳出面だけでなく税制においても少子化対策に焦点を当てた総合的な政策の検討が必要。
- **就業対策：**
社会保障のこれからの担い手である若者が意欲をもって就業し、経済的に自立できる

よう、教育政策を含め早急な対応が必要。さらに、生活保護の被保護者や障害者施策の受給者などの自立を支援する観点から、福祉施策と雇用施策の連携を深め、就労支援を一層進めていくべき。

- **年金制度改革：**
公的年金制度の一元化は、財政の安定性、ライフスタイルの中立性、制度間の公平性、制度の利便性などの観点から将来的な選択肢の1つである。まず、共通点が多い被用者年金制度の一元化から始めるべきである。
- **介護保険制度：**
介護保険制度の在宅サービスでは、医療と介護の連携を含め中重度者への重点的な対応を図るとし、福祉施策と住宅施策の連携強化やNPO等のインフォーマルなサービスの活用を図る。被保険者・受給者の範囲については、年齢や原因を問わず全ての介護ニーズに対応する「制度の普遍化」を目指すことを基本としながらも、若年層の理解を得ることが必要。
- **医療保険制度改革：**
社会保障の中で、高齢者医療費の増大が見込まれることから、医療費制度を持続可能なものにしていくために、生活習慣病予防や長期入院の是正、診療報酬の「定額払い制度」への転換、などを検討すべき。
- **その他の社会保障分野：**
生活保護など、その他の社会保障分野についても自立・就労支援等を推進するとともに、給付増の抑制のための検討が必要。
- **その他の関連施策：**
社会保障の関連施策として、自立支援・予防という観点から、高齢化や障害者等の自立に対応した建築物、公共交通機関及び公共施設のバリアフリー化の推進や、在宅での医療や介護を可能とするための住宅施策の推進等、社会保障分野でのITの活用や健康増進の観点からの健康関連産業の活性化を図る。

なお、最終報告は、今後、来年度予算の基本方針「骨太の方針」に反映されていく予定です。

第33回国際福祉機器展H.C.R.2006までのご案内



- りんかい線 国際展示場駅下車 徒歩7分
埼京線直通 大崎駅より13分、新木場駅より5分
- ゆりかもめ 国際展示場正門駅下車 徒歩3分
新橋駅より22分
- 水上バス 有明客船ターミナル下車 徒歩2分
日の出桟橋より25分
- 路線バス 東京ビッグサイト下車すぐ
東京駅八重洲口より35分、浜松町駅より30分、羽田空港駅より25分

2006 光州国際シルバー博覧会

韓国では、65歳以上の人口比重が大幅に増加しており、2000年の7%から2019年は14%、2050年は34%に達すると見込まれています。高齢化率が7%から2倍の14%になる「倍加年数」は19年間と日本の24年間（1970年から1994年）よりも短く、韓国では今後の高齢社会への対応のあり方が強い関心を呼んでいます。

また、韓国では現在、このように急速に高齢化が進展するなか介護保険制度を2008年に開始できるよう準備を進めています。

こうしたなか韓国の光州では11月30日（木）～12月2日（土）にかけて、2006光州国際シルバー博覧会が開催されます。昨年の出展社は6か国82社、日本の企業も27社出展していました。出展品目は、福祉機器の他、住宅、介護サービス、金融、医療、観光レジャー、シルバー用品と幅広くなっています。

- 開催概要**
- 開催期間** 2006年11月30日（木）～12月2日（土）
- 場所** 金大中コンベンションセンター
- 主催** 光州広域市
- お問い合わせ先**
金大中コンベンションセンター展示チーム
Tel +82-62-611-2214 Fax +82-62-611-2209
E-mail : seniorfair@seniorfair.or.kr
www.seniorfair.or.kr